

6 ポスト二十世紀梨の選定について

ねらいと成果

但馬・丹波地域の特産梨である「二十世紀」は、黒斑病に極めて弱いという欠点がある。近年、黒斑病に強い青ナシが数品種育成されたので、これらの品種について黒斑病に対する強さ、せん定のしやすさ、果実品質及び食味の調査を行った。その結果、「おさ二十世紀」から育成された自家結実性の「おさゴールド」が最も有望であることが明らかとなった。

内 容

1 「ポスト二十世紀梨」の候補

「二十世紀」の枝変わり種で、樹体特性、果実品質が「二十世紀」と同等で自家結実性を持つ「おさ二十世紀」を対照に、「おさゴールド」、「秋麗」、「瑞秋」、「真寿」について果実特性等を調査した。

2 黒斑病抵抗性

幼果に黒斑病菌を接種し、病徴を調査した。「おさゴールド」の果実は病徴が発現するものの、腐敗することはなく耐病性を示した。また、「秋麗」、「瑞秋」、「真寿」は黒斑病に対し抵抗性を示し、病徴が発現しなかった。

3 樹体特性

「おさゴールド」、「瑞秋」、「真寿」は短果枝の着生が優れ、かつ維持率が高かったことから、「二十世紀」に用いられている短果枝せん定が適して

いる。一方、「秋麗」は短果枝の着生が悪く、維持も難しいことから長果枝せん定が適している。したがって、せん定の取り組み易さの点から、「二十世紀」の産地では「おさゴールド」、「瑞秋」、「真寿」が適していると考えられた。

4 果実特性

「おさゴールド」は果重が最も小さかった。果汁の糖度は「おさ二十世紀」と同程度に高く、食味が優れていた。「秋麗」は、果重が400g以上と大果であったが、果汁のpHはやや高く酸味があまりなかった。外観はさびがやや多かった。「瑞秋」の果重は「秋麗」に次いで大きかったが、果汁の糖度は「おさ二十世紀」よりやや低く、水浸果が多かった。「真寿」の果重は「おさ二十世紀」と同程度であったが、果汁の糖度が最も低く、果肉硬度が高いことから食味は優れなかった。

5 アンケート調査

2004、2005年とも新品種の中では「おさゴールド」の評価が高く、「二十世紀」と同じような食味が好まれる傾向であった。

今後の方針

「おさゴールド」に対する1回袋かけや減農薬栽培について検討する予定である。

松浦 克彦（北部農技・農業部）

（問い合わせ先 電話：079-674-1230）



図 ポスト二十世紀梨として有望な「おさゴールド」

表 果実特性（2003～2005年平均）

品 種 名	収穫期 (月/日)	果重 (g)	果肉硬度 (lbs)	果 汁	
				pH	糖度
おさ二十世紀	9/16	373	5.10	4.58	11.6
おさゴールド	9/17	316	5.19	4.57	11.8
秋 麗	8/26	421	4.80	5.00	11.7
瑞 秋	9/4	391	4.68	4.72	11.2
真 寿	8/20	363	5.77	4.54	11.0